

疾患プロテオゲノム研究センター 特別講演会のお知らせ

演題：小胞体の機能と制御のダイナミクス

演者：森 和俊 先生

京都大学大学院理学研究科教授

(生物科学専攻、生物物理学教室)

日時：平成 28 年 2 月 26 日 (金) 17:00~18:30

**場所：疾患プロテオゲノム研究センター
1F 交流ホール**

小胞体ストレスは糖尿病や癌など多くの疾患発症に関連することが明らかになり、これらの治療法開発への貢献が期待されています。森先生は、小胞体ストレスという新しい分野を切り拓く起点となった、酵母から哺乳類細胞における小胞体ストレス応答の主役である小胞体ストレスセンサーとそれによる活性化機構の解明をされ、「ガードナー国際賞（2009年）」「ラスカー基礎医学研究賞（2014年）」などを受賞されています。最近では初期発生におけるダイナミクスとその生理機能における小胞体ストレスの意義といった重要課題にメダカを用いて取り組まれております。また、革新的なゲノム編集技術を用いてヒト細胞株で遺伝子破壊を行うという新たな切り口で、小胞体タンパク質品質管理機構の解明に挑んでおられます。これら最近の知見をレクチャーしていただきます。

問い合わせ先：疾患プロテオゲノム研究センター
生体機能分野
親泊 政一（内線 9450）